令和7年度 第38回
日本最優秀鳩舎賞

栁田雅幸鳩舎（千葉東連盟・北総連合会）

鳩人生一色――！
〝求道者〟が満を持して〝日本一〟に！

2回目　入賞率合計：0.04156

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24LK03539	B	♂	5,108羽	3位	0.00059
	24LK03586	B	♀	5,108羽	4位	0.00078
	24LK03508	B	♀	5,108羽	5位	0.00098
地区 N	24LK03587	BW	♂	4,247羽	18位	0.00424
	24LK13794	BW	♂	4,247羽	21位	0.00494
	24LK03539	B	♂	4,247羽	22位	0.00518
GP	24LK13782	BC	♀	2,915羽	13位	0.00446
	24LK14175	BC	♀	2,915羽	15位	0.00515
桜花賞	23LK09383	B	♀	1,181羽	6位	0.00508
	24LK03543	BW	♀	1,181羽	12位	0.01016

75周年記念式典にてマデイラ・FCI会長（右）から令和7年度の日本最優秀鳩舎賞に対しFCI会長賞を授与

栁田雅幸鳩舎（北総）のプロフィール

- **鳩　　歴**：一年　**・レース歴**：52年
- **鳩舎規模**：種鳩10坪50羽・選手鳩６坪130羽
- **主力系統**：雅一族（ファンブリアーナ系）、ヤン＆リック・ヘルマンス系ファンデヒーデ系、M・ポーリン系
- **代表翔歴**：全日本ゼネラルCH賞、会長賞全国1位、スーパーエクセレントピジョン、東日本稚内GN、地区N各総合優勝、東日本CH総合シングル4回、ジャパンカップ総合8位

25年春のスタート羽数：106羽

協会最高賞として君臨する「日本優秀鳩舎賞」。その全国1位にあたる「日本最優秀鳩舎賞」はまさに日本一の称号だ。令和7年度は33鳩舎が申請する中、例年並みとなる「10%」台前半がベストテンのボーダーとなった。頂点争いは前年の全国2位の杉山弘紀鳩舎（ニュー埼玉東部）と柳田雅幸鳩舎（北総）の一騎打ちとなる。「0・5%」という大僅差で後者に軍配――。柳田鳩舎が2度目の受賞で「日本最優秀鳩舎賞」に輝いた。

埼玉、千葉東両連盟で展開

88年に設立された「日本優秀鳩舎賞」は、公式に競翔家の頂点を決めるタイトルである。受賞対象は上位10鳩舎。規程レースと対象羽数は「全日本ゼネラルCH賞」と同じものだが条件や制約はなし。純粋に総合力を競うものであり、格闘技に例えるなら「無差別級」だ（＊規程は6頁）。それゆえ「日本優秀鳩舎賞」こそ協会最高賞であり、全国1位となる「日本最優秀鳩舎賞（イコール）＝日本一」という認識が非常に強い。

令和7年度のこの賞レースは、大羽数を誇る埼玉と千葉東の2連盟を中心に展開される。新規程になってから全国1位の入賞率は「3%～4%台」に落ち着く中、最終戦を前に日本一候補に浮上したのは7鳩舎。埼玉連盟からは、**鳥海　武鳩舎（埼玉幸手）**、と**鳥飼　正鳩舎（埼玉大和）**、そして前年王者の**新井　繁鳩舎（埼玉北辰）**。千葉東連盟は**鶴見正雄鳩舎（東総）**、**柳田雅幸鳩舎（北総）**、**岡澤豊次鳩舎（北総）**が名を連ね、他の連盟では前年全国2位の**杉山弘紀鳩舎（ニュー埼玉東部）**が台頭した。

最終レース終了後、全国から33鳩舎の申請があった。ちなみに日本一候補の中で受賞に至ったのは、5鳩舎だけだった。日本優秀鳩舎賞がいかに狭き門かを雄弁に物語っている。そして栄えある「日本最優秀鳩舎賞」は、柳田鳩舎と杉山鳩舎のコンマ差の一騎打ちとなり、軍配は前者――。**柳田鳩舎が日本一に輝いた。**

なお例年、本誌7月号にて速報という形で受賞者を公表しているが、**25年に限っては、75周年記念式典でのFCI会長による特別表彰（FCI会長賞）に合わせ、「日本最優秀鳩舎」も先行して発表されている。**

中距離のスペシャリストに転身

柳田鳩舎といえば、02年の東日本稚内GN総合優勝を筆頭に関東三大長距離レースで計8回総合シングルに入賞してきた、名実ともに「長距離のスペシャリスト」だ。しかしその一方で純粋にスピードを競う〝真なる〟鳩レース――すなわち中距離への憧れを胸中に秘めていたという。仕事の第一線を退いたことを機に千葉東連盟に移籍（21年）。ここで柳田鳩舎は大きく舵を切る。長距離から中距離主体に転換したのだ。

そのためスピード系の導入を積極的に行い、ヨーロッパの最新飛び筋をベースに再構築に注力。その結果、かつて関東三大長距離レースで活躍を演出したファンブリアーナ――〝雅〟一族は種鳩の2割にも満たない。

管理面でも変化は顕著だ。時間的余裕を得たことで、舎外は「鳩なり」から「強制」主体へと移行。とりわけ若鳩時の飛ばしこみは徹底され、その効果は如実に現れた。移籍1年目に30OKで総合ワンツー、23年には地区Nで総合優勝を果たしている。総合シングルにいたっては、常連鳩舎となり、「中距離のスペシャリストへの転身」は成功を収めたといえよう。

配合面については試行錯誤が見られた。新戦力導入直後は、長年親しんできた自系統への思い入れから融合を試みたものの、思うような成果は残せず。この経験を経て現在は、新戦力同士――「中距離×中距離」と雅一族を含めた「長距離×長距離」とスペシャリスト仕様としており、後者のパターンでGN連盟優勝2回、うち総合シングルに1回（22年）入賞させている。

最高賞を意識させた愛弟子の日本一！

第2のビジョンライフを満喫する中、愛弟子にして今回日本一候補にも躍りでた岡澤鳩舎の存在が、総合力が問われる「日本優秀鳩舎賞」を強く意識する契機となった。23年に試験的に挑戦してみたところ、GPまでを「4%」台に抑えることができ、受賞まであと一歩となった。しかし桜花賞で2羽とも10%ギリギリに帰還。「22%」台で規程クリアのみに終わる（未申請）。

対してその年に日本一に輝いたのは、岡澤鳩舎だった。この明暗は、柳田鳩舎の闘志に火を点けるには十分すぎた。前年の敗因をJC前の〝排卵〟と分析し、的確な修正を施して臨んだ24年――初の受賞を達成し、全国7位にランクイン。師匠としての面目を保つ結果となり、胸をなでおろしたという。

そして、一度あの〝栄光のカーペット〟を踏みしめた者の宿命か――再び〝グロノスタシス〟を味わうため、柳田鳩舎は25年も「日本優秀鳩舎賞」を明確な目標に掲げて挑んだ。初戦のRgで総合シングルに6羽入賞させ、スペシャリストとしての力を示すと地区N、GPは規程羽数を「0・5%」台までに叩き込む。最終戦前の合計入賞率は「2%」台という、全国上位クラスの数値だった。

協会のホームページを見れば、他鳩舎の入賞率も計算できる。状況を確認すると全国で3番手だった。しかもトップとの差は僅少――となれば日本一を意識しないはずがない。最終レース・桜花賞には文字通り全戦力を投入した。

大本命のレーサーにトラブル発生！

調整は、2年前の反省からオスと成鳩はナチュラルあるいは抱卵、メスは分離のダブル体制で行い、調教は舎外と訓練の二刀流。運動量は満足のいくものだった。「よく飛ばしてよく食わせる」を基本方針とし、給餌では「大麦」を用いて、食いが止まらないよう緻密にコントロール。また24年は未活用に終わった「ブロンコ」というサプリを今回は的確に使用し、持ち寄り時の仕上がりは良好――軽かった。ただし不安材料もあった。大本命の**「23LK0383」**が持ち寄り前日にまさかの産卵…。参加を見送るか否か、迷いは大きかった。前年、自鳩舎1番手で桜花賞に帰還した上、すでに「ゴールドエクセレントピジョン」の認定可能な成績に到達していた能力を信じ、悔いなき選択として、桜花賞に送り出した。

結果は、劇的だった。その1羽が、再び1番手で帰還。まさにピジョンスポーツ最大の醍醐味と言うべき瞬間で

日本最優秀鳩舎賞のポイントゲッター総覧

表紙の鳩

千葉東連盟地区N4,247羽中総合18位

“雅ポルシェ・マカンボーイ”

24LK03587 PB ♂ 柳田雅幸鳩舎 作翔

＊会長賞全国1位、シルバーエクセレントピジョン

全姉妹／**“雅ポルシェ543”、24LK03508**

千葉東連盟桜花賞1,181羽中総合12位

“雅ポルシェ543” 24LK03543 BW ♀ 柳田雅幸鳩舎 作翔

全兄弟／**“雅ポルシェ・マカンボーイ”(表紙)、24LK03508**

- DV1009-22-169 PBW エクスクリシヴ・ピジョン 作
  - B21-4153011 PBW PIPAエリートセンター 作
    “ポルシェ911”(15年KBDB超中距離ナショナルAP賞5位)×“ポルシェ911”の全妹
  - B21-4153368 PIPAエリートセンター 作
    “マカン112”(17年PIPA・長距離3レース一歳鳩8位)の娘
- “織姫” 19LK20376 B 古西正二 作

孫／**スーパーエクセレントピジョン、“雅レジョナルフォー”**

- “カウ・ファイター” B11-6332537 B ヘルマンス&フクストラ 作
  “カウガール”の直仔 孫／**24LK03539**
- **“スーパーガール”** 17LK02156 B 古西 作翔
  18年日本AP賞全国2位、全国品評会総合二席
  “ハリー”(WHZB長距離ナショナルAP賞1位)の異母弟×“ドリームガール”(“カウガール”の娘)

千葉東連盟地区N4,247羽中総合21位

24LK13794 BW ♂ 柳田雅幸鳩舎 作翔

- 19LK20314 B 古西正二 作

全兄弟／**“スーパーガール”(18年日本AP賞全国2位)**

全兄弟の直仔／**23年八郷・国際サクセス優勝**

- “ブリクセムⅠ” NL11-1912561 B ホーイマンス 作
  異母兄弟／“ハリー”
  - “ドリームガール” BWP ヘルマンス&フクストラ 作
    “カウガール”の娘 孫／**24LK03539**
- 23LK03182 B 柳田雅幸 作翔 24年Rg400K総合6位
  - 19LK20398 BW 古西正二 作
  - “雅ナショナルワン” 22LK03376 B 柳田 作翔
    23年地区N600K総合優勝 異父妹／**“雅レジョナルフォー”**

千葉ブロック連盟GP千葉東連盟2,915羽中13位

24LK13782 BC ♀ 柳田雅幸鳩舎 作翔

- 22XA11334 チョコ 米田幸由司 作
  - “エクセルチャンピオン48” チョコ 米田 作翔
    20年秋ニュー近畿連盟Rg300K総合優勝
  - 20XY01675 BC 米田 作
- 18KA06808 BC ファーストフライトロフト 作
  - 15KA12900 ファーストフライトロフト 作
  - B15-4130167 B F&Jファンデヒーデ 作翔
    “リモージュ”(“アルベルト”×“ポーラ”)の孫

千葉ブロック連盟GP千葉東連盟2,915羽中15位

24LK14175 BC ♀ 柳田雅幸鳩舎 作翔

- 19HA02010 BC 一文字ロフト 作
  “バルセロナフィリップ”(12年バルセロナIN優勝)×“ラ・マイスターバルセロナ”(16年バルセロナIN優勝)
- 20XY00989 BC 花尻充由 作 モスキート系

千葉東連盟桜花賞1,181羽中総合6位

“雅ゴールドレディ”

23LK09383 B ♀ 柳田雅幸鳩舎 作翔

＊ゴールドエクセレントピジョン、24年桜花賞総合11位

- 11HA05753 BW 一文字ロフト 作
  “バルセロナ・アルド”(06年バルセロナIN優勝)×“バルセロナ・ヴィクトリアⅡ”(10年バルセロナIN優勝)
- 20XY00878 BC 花尻充由 作 モスキート系

千葉東連盟Rg 5,108羽中総合3位
千葉東連盟地区N4,247羽中総合22位

24LK03539 B ♀ 柳田雅幸 作翔

- 19LK20398 B 古西正二 作
  - “カウ・ファイター” B11-6332537 B ヘルマンス&フクストラ 作
    “カウガール”(オリンピアード代表、ブールジュN優勝)の直仔
    孫／**“雅ポルシェ・マカンボーイ”(表紙)他**
  - “ドリームガール”
    B11-6244645 BWP ヘルマンス&フクストラ 作
    “カウガール”の娘 孫／**24LK13794**
    娘／**“スーパーガール”(18年日本AP賞全国2位)**
    孫／**23年八郷・国際サクセス200K優勝**
- 20LC13285 B 北澤利明 作
  - 16LC08192 B 北澤 作
    “デビル・プリンス”(モンリュソンN優勝)の孫
    直仔／“錦亀メイ”(19年平成千葉連盟地区N総合優勝)
  - “錦亀サボ” 13LC02296 B 北澤 作翔
    14年平成千葉連盟地区N総合優勝

千葉東連盟Rg5,108羽中総合4位

“雅レジョナルフォー”

24LK03586 B ♀ 柳田雅幸 作翔

- “雅GPⅡ” 21LK00183 B 柳田雅幸 作翔 22年GP連盟2位
  M&J・ポリン作翔(グレN8,517羽中176位)×“織姫”
- “アルドラ” B18-4097074 BW F&J・ファンデヒーデ 作翔
  リモージュN10,699羽中48位
  “マストドン”(カオールN6位)×“マストドン”の孫
  直仔／23年地区N総合優勝、22年秋AP連盟3位

千葉東連盟Rg5,108羽中総合5位

24LK03508 B ♀ 柳田雅幸鳩舎 作翔

全兄弟／**“雅ポルシェ・マカンボーイ”(表紙)、“雅ポルシェ543”**

ある。総合で6位につけると2番手がそれから20分後に打刻し、総合で12位に入賞。合計**「0・04156」**をマークし、少なからず同じ連盟の有力2鳩舎を上回った。しかし、気がかりは他連盟の強豪だった。

「特に杉山さんとは、入賞率がほぼ同じだったと聞いていました。負けても仕方ない、と覚悟はしていましたね」。

そう語る柳田鳩舎のもとに届いたのは、協会75周年記念式典の出欠確認と併せた授賞の報せだった。驚き、喜び、安堵――複雑な感情が一気に押し寄せたという。

鳩一色の人生を歩む今――

記念式典では、特別表彰としてFCI会長から「日本最優秀鳩舎賞」受賞者へ直に**「FCI会長賞」**を授与。笑顔で写真に収まっていたものの、本人はあまりの緊張で頭の中がまっしろだったとのことだ。

柳田鳩舎は、会長賞でも全国1位に輝いた他、「スーパーエクセレントピジョン」の認定鳩までも獲得。これらは全て“カウガール”の近親鳩“織姫”によってもたらされた成果だ。ともあれ日本一2冠、西日本一3冠達成とあって、キャリアハイの1年になったことは間違いない。

現在の柳田鳩舎は、日々の飼育に没頭する傍ら、時間を見つけては機関誌やウェブを通じて最新の情報を収集し、血統、配合に思索する日々を送っているという。生活の中心は常に鳩――まさに鳩一色の人生である。そうした不断の研鑽を積み重ねてきた“求道者”が、このたび日本鳩界の頂点に立ったことは、必然であったと言えるだろう。

令和7年度 第38回
日本優秀鳩舎賞・全国2位
杉山弘紀鳩舎（埼群連盟・ニュー埼玉東部連合会）

杉山弘紀鳩舎（ニュー埼玉東部）のプロフィール

- 鳩　　歴：21年　・レース歴：21年
- 鳩舎規模：種鳩40坪200羽　選手鳩10坪200羽
- 主力系統：ガストン・デブークト系、リーンブーア系
  スカーラーケンス系、A・ビーンズ系
- 代表翔歴：日本AP賞全国9位、ブロックCH賞
  春・秋Rg総合優勝計5回、菊花賞連盟優勝4回
  八郷・国際ダービー400K優勝

25年春のスタート羽数：161羽（うち成鳩29羽）

3回目

入賞率合計：0.04670

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24HL04695	BCPW	♀	2,130 羽	1 位	0.00047
	24HL04548	BC	♀	2,130 羽	2 位	0.00094
	23HL00185	B	♂	2,130 羽	3 位	0.00141
地区 N	24HL04359	B	♂	1,593 羽	1 位	0.00063
	24HL04620	B	♀	1,593 羽	7 位	0.00439
	24HL04465	B	♂	1,593 羽	8 位	0.00502
GP	24HL04383	S	♀	964 羽	2 位	0.00207
	23HL00185	B	♂	964 羽	10 位	0.01037
桜花賞	24HL04378	BW	♂	327 羽	3 位	0.00917
	23HL00283	B	♀	327 羽	4 位	0.01223

2年連続全国2位＆かつての規程なら2年連続日本一

一度生を受けし男、頂を極めずして何を成す――。

2年連続日本優秀鳩舎賞受賞、うち24年には全国2位に選出された**杉山弘紀鳩舎（ニュー埼玉東部）**にとってその頂は、決して手の届かぬ位置ではなくなった。ゆえに杉山鳩舎の25年が、ただ一点を見据えたシーズンであったことは想像に難くない。情熱は力へと昇華され、GP終了時点で全国で2番目の好入賞率をマーク。〝日本一最有力候補〟の一角へと躍り出る。余力を残さぬ全力で臨んだ最終戦・桜花賞では、総合3位、4位に入賞。まさに画竜点睛――そう思われた刹那、わずか一つの順位差が、栄冠を阻んだ。

結果は2年連続の全国2位。しかも規程羽数全てベストテン入りという〝パーフェクト〟を達成しての受賞である――しかし。

この度の結果は、素直に喜べないというのが杉山鳩舎の心中であろう。さらに言えばもし秋のRgまでを含めた従来規程であったならば、「日本最優秀鳩舎賞」に輝いていたのだ。これもまた2年連続…。運命の歯車が、ほんのわずか噛み合わなかったに過ぎない。

戦力面に目を向けると、その完成度の高さは際立っており、ポイントゲッター全9羽のうち7羽がガストン・デブークト作の〝DE03（＊KBDB長距離ナショナルAP賞〝マヌ〟の孫）〟のラインである。今回に限らず、過去2度の日本優秀鳩舎賞受賞を支えてきた原動力でもあり、杉山鳩舎におけるオリジナルラインは、今まさに〝熟成期〟に入ったと見て差し支えない。

また〝能力を引き出した〟という観点からみれば、管理も完成されつつあるともとれる。さらに「継続こそ力なり」という言葉は、勝負の世界であるピジョンスポーツにも通ずるものであり、杉山鳩舎にとって頂点はもはや〝確実に〟射程圏内にある。

気持ちを切り替え、今年こそ三度目の正直に――。杉山鳩舎が悲願の「日本一」に輝くその瞬間を、大いに期待したい。

日本最優秀鳩舎選考規程

第1条（目的）
本規程は、レース鳩の形質の改良を図るために、各種レースに於いて優秀な成績を収めた鳩舎を表彰することを目的とする。

第2条（選考基準）
前条の目的を達成するために必要な基準を次の通り定める。
対象レース　選考対象レースは下記レースとする。
(1) 春季Rgレース
(2) 地区Nレース
【下記の3レースより2レースを選択する。】
(3) 桜花賞レース
(4) GPレース（連盟序列）
(5) GNレース（連盟序列）

申請資格　申請する対象4レースにおいて、次の範囲と羽数で合計10羽の鳩が入賞していること。
(1) 春季Rgレース 上位5%以内に3羽
(2) 地区Nレース 上位5%以内に3羽
【下記の3レースより2レースを選択する。】
(3) 桜花賞レース 上位10%以内に2羽
(4) GPレース　上位10%以内に2羽
(5) GNレース　上位10%以内に2羽　合計10羽

第3条（申請手続）
地区連盟単位に6月10日迄を必着として協会交付の申請用紙にて申請を行うこと。但し、1連盟10鳩舎迄の申請とし、個人の合同委託鳩舎を除く。（註：合同委託鳩舎とは、鳩が有償で委託される鳩舎又は譲渡者の受益に限って委託される鳩舎をいうものとする。従来の共同鳩舎についてはこの限りでない。）
前項の期日を過ぎた申請は、原則として受理しないものとする。

第4条（選考方法）
下記の計算方法にて全国ランキングを決定し、授賞順位とする。
計算方法　対象4レースの10羽（第2条・2に記載）それぞれの入賞率を計算し、
その合計点数の小さいものを上位とする。
【入賞順位÷
　レース参加羽数（小数点以下6桁目四捨五入）】

第5条（授賞）
下記の通りの授賞を行う。
日本最優秀鳩舎賞　1鳩舎　賞状・記念品／日本優秀鳩舎賞　9鳩舎　賞状・記念品
但し、第4条の計算にて同点数の場合は、それぞれ同等の授賞とする。表彰式は1月に行う。

令和7年度 第38回

日本優秀鳩舎賞・全国3位

岡澤豊次鳩舎（千葉東連盟・北総連合会）

岡澤豊次鳩舎（北総）のプロフィール

- **鳩　　歴**：7年　・**レース歴**：7年
- **鳩舎規模**：種鳩15坪200羽・選手鳩14坪300羽
- **主力系統**：ロードホフ系、ジノ・クリケ系、リック・ヘルマンス系
- **代表翔歴**：日本エースピジョン賞全国2位
  東日本CH、ジャパンカップ各総合シングル
  春Rg総合優勝

25年春のスタート羽数：250羽（うち成鳩20羽）

新世代の日本一が再びベスト3入り！

2年前――レース歴わずか5年にして「日本最優秀鳩舎賞」に選出された超新星・**岡澤豊次鳩舎（北総）**。鮮烈な戴冠は、まさに時代の到来を告げる出来事であった。

「日本一」として臨んだ24年は、その栄光がフロックではないことを証明すべく、〝2年連続〟を明確な目標に設定。初挑戦となる東日本CHで総合シングルを叩き出すなど、随所に存在感を示したが、結果は受賞に一歩届かず。

秋シーズンでは、師の一人である飛田輝明鳩舎の種鳩を一挙導入したことで選手鳩数が急増。餌吐きに加え、密飼いとなった影響もあり、本来の力を発揮し切れなかった。翌春への一抹の不安を残したまま、「新世代の日本一の1年」が幕を閉じたことは、記憶に新しい。

しかし25年春。選手鳩数は例年規模へと戻り、師匠たちの教えを一から見直すことで、レーシングチームは見違えるように覚醒する。最終回で語っていた「規程レース全て総合シングル入賞」という高い目標を、現実のものとしたのである。

日本優秀鳩舎賞においても、日本一候補として名を連ねたが、頂点は最初の師である柳田鳩舎が受賞。対して岡澤鳩舎は全国3位に輝いた。

主力系統である〝スーパーボーイ〟、〝チャンピオンボーイ〟に加え、飛田鳩舎の勝ち筋が安定した活躍を見せた一方、新人時代に導入したランブールの会心作〝パルセロナトリプル5〟の血が満を持して勇躍。シングル2回のスーパーCHが誕生し、ライン化への確かな手応えを残した点も見逃せない。

もちろん課題は把握済みであり、26年は修正を施した上での再挑戦となる。新世代の日本一は、まだ途上にあり、これからさらに強くなるであろう…！

2回目

入賞率合計：0.05930

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24LK03753	BC	♂	5,108羽	6位	0.00117
	24LK02263	BCW	♀	5,108羽	10位	0.00196
	24LK02282	BCWP	♀	5,108羽	11位	0.00215
地区 N	23LK02823	BC	♂	4,247羽	9位	0.00212
	24LK01268	B	♂	4,247羽	31位	0.00730
	24LK11923	B	♀	4,247羽	58位	0.01366
GP	23LK02823	BC	♂	2,915羽	2位	0.00069
	23LK08165	BC	♂	2,915羽	24位	0.00823
桜花賞	23LK02996	BCWP	♀	1,181羽	4位	0.00339
	23LK00147	B	♂	1,181羽	22位	0.01863

日本優秀鳩舎賞受賞回数（3回以上）

13回
- 河原雅基鳩舎（京浜連合会）↑

9回
- 奥住　豊鳩舎（埼玉中央連合会）
- 新井　繁鳩舎（埼玉北辰連合会）↑
- 及川　茂鳩舎（新日本連合会）

8回
- うさぎロフト（茨城北連合会）
- 藤田淳一鳩舎（元・尾北第三連合会）

7回
- 高塚久雄鳩舎（茨日連合会）
- 鈴木　隆鳩舎（埼玉北葛連合会）↑
- 石川誠二鳩舎（川崎連合会）
- 岩田誠三鳩舎（元・東海連合会）

6回
- 鹿島成浩鳩舎（武蔵野連合会）

5回
- 阿内益雄鳩舎（元・茨城セントラル連合会）
- 飛田輝明鳩舎（茨城北連合会）
- 黒田哲夫鳩舎（元・上総連合会）
- KANDA LOFT（鎌ヶ谷中央連合会）
- 早乙女節夫鳩舎（ニュー横浜連合会）
- 横地光彦鳩舎（静岡県連合会）
- 神谷　中鳩舎（元・尾北連合会）
- 大橋憲夫鳩舎（岐阜県連合会）

4回
- 小川安都志鳩舎（東金セントラル連合会）
- 吉田三男鳩舎（東愛知連合会）
- 増田和雄鳩舎（尾張連合会）

3回
- 西野宮秀夫鳩舎（元・日立連合会）
- 一文字ロフト（茨城東連合会）
- 浅野　栄鳩舎（鹿島連合会）
- 杉山弘紀鳩舎（ニュー埼玉東部連合会）↑
- 中田幸雄鳩舎（埼玉南部連合会）
- 植竹道夫鳩舎（元・埼玉連合会）
- 今田俊児鳩舎（下総中央連合会）
- 宍戸　馨鳩舎（東金セントラル連合会）
- 森川浩吉鳩舎（上総連合会）
- ピグマリオンロフト（常総中央連合会）
- 柴田茂昭鳩舎（東京南部連合会）
- 永井　勇鳩舎（元・新日本連合会）
- 中村・有田共同鳩舎（東愛知連合会）
- 小林晴夫鳩舎（愛知三州連合会）
- 加藤正祝鳩舎（東海連合会）
- 海老利明鳩舎（富山連合会）
- 三宅博幸鳩舎（元・倉敷連合会）

※所属は最新の受賞時点

秀鳩舎賞 全国4位～10位

新井　繁鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北辰連合会）

9回目

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24KA17770	B	♂	7,405 羽	65 位	0.00878
	23KA20464	B	♂	7,405 羽	75 位	0.01013
	23KA16746	BC	♀	7,405 羽	76 位	0.01026
地区 N	24KA15994	B	♂	5,511 羽	2 位	0.00036
	24KA08583	BC	♀	5,511 羽	3 位	0.00054
	24KA17857	B	♀	5,511 羽	33 位	0.00599
GP	23KA16745	BW	♀	3,227 羽	5 位	0.00155
	22KA00086	B	♂	3,227 羽	10 位	0.00310
桜花賞	24KA19425	B	♂	1,443 羽	21 位	0.01455
	24KA17837	BC	♀	1,443 羽	26 位	0.01802

入賞率合計：0.07328

向後金治鳩舎
（千葉東連盟・東総連合会）

初受賞

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24LK02175	B	♂	5,108 羽	20 位	0.00392
	23LK06343	BC	♂	5,108 羽	21 位	0.00411
	24LK04357	B	♂	5,108 羽	22 位	0.00431
地区 N	23LK04388	RC	♂	4,247 羽	37 位	0.00871
	24LK00098	S	♀	4,247 羽	92 位	0.02166
	23LK06328	BCW	♀	4,247 羽	93 位	0.02190
GP	24LK02181	BC	♀	2,915 羽	12 位	0.00412
	23LK06343	BC	♂	2,915 羽	14 位	0.00480
桜花賞	24LK00065	BC	♂	1,181 羽	2 位	0.00169
	23LK06328	BCW	♀	1,181 羽	5 位	0.00423

入賞率合計：0.07945

鈴木　隆鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北葛連合会）

7回目

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24KA03526	BC	♀	7,405 羽	8 位	0.00108
	24KA03569	B	♀	7,405 羽	9 位	0.00122
	24KA03539	BC	♂	7,405 羽	24 位	0.00324
地区 N	24KA03670	BC	♂	5,511 羽	67 位	0.01216
	23KA15866	B	♀	5,511 羽	70 位	0.01270
	24KA05397	BC	♂	5,511 羽	75 位	0.01361
GP	23KA14051	BC	♀	3,227 羽	20 位	0.00620
	24KA03670	BC	♂	3,227 羽	88 位	0.02727
桜花賞	24KA03577	B	♀	1,443 羽	4 位	0.00277
	23KA15866	B	♀	1,443 羽	7 位	0.00485

入賞率合計：0.08510

河原雅基鳩舎
（東京東連盟・京浜連合会）

13回目

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24MA00305	S	♂	1,275 羽	2 位	0.00157
	24MA00449	B	♀	1,275 羽	3 位	0.00235
	24MA00333	B	♀	1,275 羽	4 位	0.00314
地区 N	23MA02136	B	♂	945 羽	2 位	0.00212
	23MA02240	B	♀	945 羽	4 位	0.00423
	24MA00436	B	♂	945 羽	22 位	0.02328
GP	23MA02298	B	♀	471 羽	6 位	0.01274
	23MA02232	B	♂	471 羽	10 位	0.02123
桜花賞	24MA00356	B	♀	174 羽	1 位	0.00575
	23MA02232	B	♂	174 羽	3 位	0.01724

入賞率合計：0.09365

令和7年度 第38回日本優

入賞率合計：0.09663

小田義光鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)

初受賞

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24KA16151	B	♂	7,405羽	25位	0.00338
	23KA19795	B	♂	7,405羽	69位	0.00932
	24KA16258	B	♀	7,405羽	243位	0.03282
地区 N	24KA16162	BC	♀	5,511羽	23位	0.00417
	24KA16198	BC	♀	5,511羽	44位	0.00798
	23KA19795	B	♂	5,511羽	78位	0.01415
GP	23KA19795	B	♂	3,227羽	17位	0.00527
	24KA16197	BC	♀	3,227羽	25位	0.00775
桜花賞	23KA19795	B	♂	1,443羽	5位	0.00347
	24KA16162	BC	♀	1,443羽	12位	0.00832

入賞率合計：0.10502

伊藤信義鳩舎
(千葉東連盟・東金セントラル連合会)

初受賞

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24LK00486	B	♀	5,108羽	17位	0.00333
	24LK05057	B	♀	5,108羽	43位	0.00842
	24LK00430	BC	♀	5,108羽	45位	0.00881
地区 N	24LK00448	B	♀	4,247羽	3位	0.00071
	24LK00476	B	♀	4,247羽	34位	0.00801
	24LK00472	BC	♂	4,247羽	35位	0.00824
GP	24LK00442	B	♂	2,915羽	23位	0.00789
	24LK00415	B	♀	2,915羽	38位	0.01304
桜花賞	24LK00430	BC	♀	1,181羽	20位	0.01693
	24LK00485	B	♀	1,181羽	35位	0.02964

入賞率合計：0.12055

鶴見正雄鳩舎
(千葉東連盟・東総連合会)

初受賞

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	24LK01945	S	♀	5,108羽	1位	0.00020
	24LK02000	BC	♀	5,108羽	18位	0.00352
	23LK01629	B	♀	5,108羽	27位	0.00529
地区 N	24LK00102	B	♀	4,247羽	6位	0.00141
	23LK01629	B	♀	4,247羽	8位	0.00188
	24LK01937	BC	♀	4,247羽	15位	0.00353
GP	23LK01700	BC	♀	2,915羽	5位	0.00172
	24LK01983	BC	♀	2,915羽	9位	0.00309
桜花賞	24LK01936	BCW	♂	1,181羽	9位	0.00762
	24LK00125	DC	♂	1,181羽	109位	0.09229

令和7年度 日本優秀鳩舎の規程クリア鳩舎 一覧

申請鳩舎	合計入賞率
大久保元美鳩舎(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)	0.19406
長坂　隆志鳩舎(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)	0.16860
原田　正志鳩舎(埼玉連盟・埼玉北葛連合会)	0.28571
鳥飼　　正鳩舎(埼玉連盟・埼玉大和連合会)	0.13023
柴田　茂昭鳩舎(東京東連盟・東京南部連合会)	0.13176
杉山　勝弘鳩舎(あさひ連盟・神奈川県央連合会)	0.19467
丹羽　吉三鳩舎(三重連盟・三重第五連合会)	0.18565
米田幸由司鳩舎(ニュー近畿連盟・なんば連合会)	0.12305
下村　健造鳩舎(北陸北連盟・富山連合会)	0.26165
笠井　俊宏鳩舎(北陸北連盟・富山連合会)	0.31749
杉田　政雄鳩舎(北陸南連盟・福井県連合会)	0.30435

※24年度社員名簿順

申請鳩舎	合計入賞率
本間　正明鳩舎(北海道北部連盟・札幌連合会)	0.23648
菅原　裕策鳩舎(秋田連盟・秋田連合会)	0.19670
大坊　守雄鳩舎(秋田連盟・秋田連合会)	0.32166
渋谷　一男鳩舎(宮城連盟・ニュー仙南連合会)	0.15744
A&Kロフト　(新潟連盟・長岡連合会)	0.21456
檜山　郁夫鳩舎(北関東連盟・茨城セントラル連合会)	0.21440
矢口　　忠鳩舎(茨城連盟・常陸小川連合会)	0.23940
斉藤・岡部鳩舎(茨城連盟・茨城北連合会)	0.17560
松浦　邦彦鳩舎(茨城連盟・茨城西連合会)	0.17721
櫛毛　政好鳩舎(東坂東連盟・真岡連合会)	0.32775
平田兄弟鳩舎　(埼群連盟・関東中部連合会)	0.13826
鳥海　　武鳩舎(埼玉連盟・埼玉幸手連合会)	0.17882

歴代受賞者

88年～91年、
19年～25年は春レースのみ対象

＊所属は受賞当時
11年(第24回)と20年(第33回)は授賞なし

第13回　2000年

最優秀	小林　晴夫	鳩舎	愛知三州連合会
2位	神田　隆夫	鳩舎	常南連合会
3位	永井　勇	鳩舎	新日本連合会
4位	今宮　健二	鳩舎	総連合会
5位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
6位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
7位	加藤　正祝	鳩舎	東海連合会
8位	香山　光男	鳩舎	岐阜県連合会
9位	鈴木喜美男	鳩舎	ニュー仙南連合会
10位	岡田　憲明	鳩舎	東京南部連合会

第14回　2001年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
2位	永谷　準一	鳩舎	みかわ連合会
3位	小泉　義彦	鳩舎	日東連合会
4位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
5位	水野・渡辺	鳩舎	東愛知連合会
6位	永井　勇	鳩舎	新日本連合会
7位	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
8位	上野　裕介	鳩舎	東金セントラル連合会
9位	関町　幹雄	鳩舎	茨城東連合会
10位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会

第15回　2002年

最優秀	中田　幸雄	鳩舎	埼玉南部連合会
2位	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
3位	長島　祐二	鳩舎	常総中央連合会
4位	姚　輝雄	鳩舎	成田連合会
5位	秋山　剛史	鳩舎	埼玉北葛連合会
6位	及川　茂	鳩舎	新日本連合会
7位	古田　賢	鳩舎	尾張連合会
8位	平田兄弟	鳩舎	関東中部連合会
9位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
10位	酒井　英男	鳩舎	埼玉吉川連合会

第16回　2003年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
2位	永井　勇	鳩舎	新日本連合会
3位	モンキーロフト		日光鳩軍団連合会
4位	石崎　一男	鳩舎	ニュー東京連合会
5位	プリモロフト	房	総連合会
6位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
7位	丹羽　和一	鳩舎	三重第三連合会
8位	海野　和夫	鳩舎	静岡中央連合会
9位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会
10位	松井冨士男	鳩舎	西多摩連合会

第17回　2004年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	ベイ東京連合会
2位	今井　雅之	鳩舎	姫路連合会
3位	中田　幸雄	鳩舎	埼玉南部連合会
4位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
5位	早乙女節夫	鳩舎	ニュー横浜連合会
6位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会
7位	神田　隆夫	鳩舎	常南連合会
8位	鹿島　成浩	鳩舎	武蔵野連合会
9位	中村・有田	鳩舎	東愛知連合会
10位	新井　繁	鳩舎	埼玉北辰連合会

第18回　2005年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	ベイ東京連合会
2位	今井　雅之	鳩舎	姫路連合会
3位	早乙女節夫	鳩舎	ニュー横浜連合会
4位	及川　茂	鳩舎	新日本連合会
5位	小林　晴夫	鳩舎	愛知三州連合会
6位	鹿島　成浩	鳩舎	武蔵野連合会
7位	プリモロフト	房	総連合会
8位	羽深　茂	鳩舎	新潟春日連合会
9位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会
10位	柴田　茂昭	鳩舎	東京南部連合会

第7回　1994年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	早乙女節夫	鳩舎	横浜連合会
3位	矢内　富夫	鳩舎	横浜西部連合会
4位	今田　俊児	鳩舎	千葉中央連合会
5位	上楽　秀雄	鳩舎	富山連合会
6位	大高　繁	鳩舎	関東東部連合会
7位	浅野　栄	鳩舎	鹿島連合会
8位	尾張谷兄弟	鳩舎	松戸東部連合会
9位	田中　公一	鳩舎	江東連合会
10位	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会

第8回　1995年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	神田　隆夫	鳩舎	鎌ヶ谷連合会
3位	今田　俊児	鳩舎	千葉中央連合会
4位	大久保俊治	鳩舎	北総連合会
5位	木村　好夫	鳩舎	宇都宮連合会
6位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
7位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
8位	植竹　道夫	鳩舎	埼玉連合会
9位	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会
10位	山崎　育夫	鳩舎	埼玉連合会

第9回　1996年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
3位	染谷　浩樹	鳩舎	埼玉草加連合会
4位	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
5位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
6位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
7位	斉木啓多郎	鳩舎	川崎連合会
8位	髙柳　修三	鳩舎	横浜連合会
9位	小沢　五郎	鳩舎	三河東部連合会
10位	嶋田　敏男	鳩舎	新東連合会

第10回　1997年

最優秀	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
2位	田中　利昌	鳩舎	日立連合会
3位	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
4位	金澤　賢二	鳩舎	五峰連合会
5位	萩原　英男	鳩舎	大千葉連合会
6位	海老　利明	鳩舎	富山連合会
7位	早乙女節夫	鳩舎	横浜連合会
8位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
9位	坂本庄一郎	鳩舎	北総連合会
10位	親松　広明	鳩舎	川崎連合会

第11回　1998年

最優秀	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
2位	大嶋　進	鳩舎	房総連合会
3位	山崎　満庸	鳩舎	房総連合会
4位	千田　久雄	鳩舎	富山連合会
5位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
6位	吉野　喜一	鳩舎	埼玉北部連合会
7位	今田　俊児	鳩舎	千葉中央連合会
8位	芙蓉ロフト		東三河連合会
9位	塩川　淳一	鳩舎	県央南連合会
10位	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会

第12回　1999年

最優秀	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
2位	加賀　邦彦	鳩舎	一関連合会
3位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
4位	今宮　雅之	鳩舎	東総連合会
5位	谷田部　誠	鳩舎	尾張連合会
6位	上楽　秀雄	鳩舎	富山連合会
7位	中村・有田	共同鳩舎	東愛知連合会
8位	吉野　喜一	鳩舎	埼玉北部連合会
9位	鈴木　信義	鳩舎	東京南部連合会
10位	田嶋　弘	鳩舎	三重第一連合会

第1回　1988年

最優秀	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
2位	アルファロフト		宮城中央連合会
3位	宍戸　馨	鳩舎	東金セントラル連合会
4位	三宅　博幸	鳩舎	ニュー倉敷連合会
5位	植竹　道夫	鳩舎	埼玉連合会
6位	大橋　則之	鳩舎	東北宇都宮連合会
7位	宮下　博	鳩舎	下総第二連合会
8位	姚　輝雄	鳩舎	成田連合会
9位	柴田　博之	鳩舎	埼玉草加連合会
10位	秋谷　幸男	鳩舎	常南連合会

第2回　1989年

最優秀	大井　昭義	鳩舎	静岡中央連合会
2位	西野宮秀夫	鳩舎	日立連合会
3位	山口　裕	鳩舎	横浜連合会
4位	宮部二三朗	鳩舎	西湘連合会
5位	三宅　博幸	鳩舎	ニュー倉敷連合会
6位	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
7位	島村　武房	鳩舎	埼玉利根連合会
8位	岩井　一夫	鳩舎	鎌ヶ谷中央連合会
9位	阿部　宏	鳩舎	長岡連合会
10位	小野　久雄	鳩舎	関東東部連合会

第3回　1990年

最優秀	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
2位	西野宮秀夫	鳩舎	日立連合会
3位	千田　久雄	鳩舎	富山連合会
4位	海老　利明	鳩舎	富山連合会
5位	越後　信行	鳩舎	鹿島連合会
6位	辻田　肇	鳩舎	鹿島連合会
7位	大嶋　進	鳩舎	房総連合会
8位	岩井　一夫	鳩舎	鎌ヶ谷中央連合会
9位	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
10位	三宅　博幸	鳩舎	ニュー倉敷連合会

第4回　1991年

最優秀	三上　一也	鳩舎	上総連合会
2位	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
3位	稲垣　富二	鳩舎	ユーカリ連合会
4位	宮部二三朗	鳩舎	西湘連合会
5位	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
6位	島口　和典	鳩舎	横浜連合会
7位	植竹　道夫	鳩舎	埼玉連合会
8位	西野宮秀夫	鳩舎	日立連合会
9位	早乙女　遥	鳩舎	横浜連合会
10位	萩原　英男	鳩舎	大千葉連合会

第5回　1992年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
3位	宮下　博	鳩舎	下総第二連合会
4位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
5位	品掘二三男	鳩舎	ニュー仙南連合会
6位	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
7位	浅野　栄	鳩舎	鹿島連合会
8位	神田　隆夫	鳩舎	鎌ヶ谷連合会
9位	大沢ファミリーロフト		つくば南部連合会
10位	アルファロフト		宮城中央連合会

第6回　1993年

最優秀	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会
2位	大高　繁	鳩舎	関東東部連合会
3位	江澤　孝吉	鳩舎	木更津東連合会
4位	鷲山　南芳	鳩舎	加越連合会
5位	矢内　富夫	鳩舎	横浜西部連合会
6位	住谷　勝三	鳩舎	水都連合会
7位	小林　秀一	鳩舎	新潟春日連合会
8位	高瀬二三夫	鳩舎	常南連合会
9位	浅野　栄	鳩舎	鹿島連合会
10位	西野　正八	鳩舎	尾張連合会

日本優秀鳩舎賞

第32回 2019年		
最優秀	一文字ロフト	茨城東連合会
2位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
3位	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
4位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
5位	柴田　茂昭鳩舎	東京南部連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
8位	矢口　忠鳩舎	常陸小川連合会
9位	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会
10位	平野　幸夫鳩舎	東総連合会

第34回 2021年		
最優秀	河原雅基鳩舎	ベイ東京連合会
2位	飛田輝明鳩舎	茨城北連合会
3位	住谷勝三鳩舎	豊中連合会
4位	KANDA LOFT	鎌ヶ谷中央連合会
5位	一文字ロフト	茨城東連合会
6位	黒田哲夫鳩舎	上総連合会
7位	ピグマリオンロフト	常総中央連合会
8位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
9位	古里治彦鳩舎	京都雅連合会
10位	冨田欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会

第35回 2022年		
最優秀	米田幸由司鳩舎	なんば連合会
2位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
3位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
4位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
5位	飛田輝明鳩舎	茨城北連合会
6位	古里治彦鳩舎	京都雅連合会
7位	松浦邦彦鳩舎	茨城西連合会
8位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
9位	梅島秀章鳩舎	大静岡連合会
10位	荻谷純生鳩舎	茨城北連合会

第36回 2023年		
最優秀	岡澤　豊次鳩舎	北総連合会
2位	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会
3位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
4位	大沢ファミリーロフト	常北連合会
5位	鈴木周一鳩舎	埼玉中央連合会
6位	米田幸由司鳩舎	なんば連合会
7位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
8位	本橋博美鳩舎	多摩東部連合会
9位	鈴木・大内ロフト	茨城北連合会
10位	杉山弘紀鳩舎	ニュー埼玉東部連合会

第37回 2024年		
最優秀	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
2位	杉山弘紀鳩舎	ニュー埼玉東部連合会
3位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
4位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
5位	ピグマリオンロフト	常総中央連合会
6位	鳥飼　正鳩舎	埼玉大和連合会
7位	柳田雅幸鳩舎	北総連合会
8位	芝崎元彰鳩舎	埼玉北葛連合会
9位	本橋博美鳩舎	多摩東部連合会
10位	河原雅基鳩舎	京浜連合会

第38回 2025年 NEW!		
最優秀	柳田　雅幸鳩舎	北総連合会
2位	杉山　弘紀鳩舎	ニュー埼玉東部連合会
3位	岡澤　豊次鳩舎	北総連合会
4位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
5位	向後　金治鳩舎	東総連合会
6位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
7位	河原　雅基鳩舎	京浜連合会
8位	小田　義光鳩舎	埼玉北辰連合会
9位	伊藤　信義鳩舎	東金セントラル連合会
10位	鶴見　正雄鳩舎	東総連合会

第26回 2013年		
最優秀	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
2位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
3位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
4位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
5位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
6位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
7位	米倉　勝弘鳩舎	下総連合会
8位	柴田　茂昭鳩舎	東京南部連合会
9位	該当鳩舎なし	
10位	該当鳩舎なし	

第27回 2014年		
最優秀	一文字ロフト	茨城東連合会
2位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
3位	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
4位	米倉　勝弘鳩舎	下総連合会
5位	北野　雅雄鳩舎	北総連合会
6位	神谷　中鳩舎	中京連合会
7位	長谷川　傑鳩舎	日本海連合会
8位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
9位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
10位	遠藤　宝鳩舎	富嶽連合会

第28回 2015年		
最優秀	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
2位	うさぎロフト	茨城北連合会
3位	狩野　利一鳩舎	上総連合会
4位	神谷　中鳩舎	中京連合会
5位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	古川　正鳩舎	北都連合会
8位	早乙女節夫鳩舎	ニュー横浜連合会
9位	高塚　久雄鳩舎	茨日連合会
10位	長谷川　傑鳩舎	日本海連合会

第29回 2016年		
最優秀	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
2位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
3位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
4位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
5位	矢口　忠鳩舎	常陸小川連合会
6位	横井　信治鳩舎	富山北連合会
7位	日暮　義一鳩舎	房総連合会
8位	宍戸　馨鳩舎	東金セントラル連合会
9位	うさぎロフト	茨城北連合会
10位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会

第30回 2017年		
最優秀	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会
2位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
3位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
4位	うさぎロフト	茨城北連合会
5位	坪井　和利鳩舎	尾張連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	永江　洋二鳩舎	しらさぎ東連合会
8位	菅原　明鳩舎	阿賀北連合会
9位	該当鳩舎なし	
10位	該当鳩舎なし	

第31回 2018年		
最優秀	ピグマリオンロフト	常総中央連合会
2位	古西　正二鳩舎	東総連合会
3位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会
4位	うさぎロフト	茨城北連合会
5位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
8位	狩野　利一鳩舎	上総連合会
9位	本間　正明鳩舎	札幌連合会
10位	石川　誠二鳩舎	川崎連合会

第19回 2006年		
最優秀	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
2位	小林　晴夫鳩舎	愛知三州連合会
3位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
4位	小黒　良作鳩舎	長岡中央連合会
5位	石川　誠二鳩舎	川崎連合会
6位	中田　幸雄鳩舎	埼玉南部連合会
7位	永谷　準一鳩舎	尾張連合会
8位	釜井　盛司鳩舎	宇都宮連合会
9位	丹羽　和一鳩舎	三重第三連合会
10位	佐藤　守鳩舎	東京南部連合会

第20回 2007年		
最優秀	神谷　中鳩舎	尾張連合会
2位	北野　雅雄鳩舎	北総連合会
3位	宍戸　馨鳩舎	東金セントラル連合会
4位	谷澤　六雄鳩舎	埼玉草加連合会
5位	広沢　明鳩舎	川崎連合会
6位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会
7位	藤田　淳一鳩舎	尾張連合会
8位	中村　弘鳩舎	成田連合会
9位	高柳　芳男鳩舎	群馬中央南連合会
10位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会

第21回 2008年		
最優秀	リバーサイドロフト	常総中央連合会
2位	藤田　淳一鳩舎	尾張連合会
3位	鯉沼　幾雄鳩舎	関東中部連合会
4位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会
5位	谷田部　誠鳩舎	中京連合会
6位	神谷　中鳩舎	尾張連合会
7位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
8位	早乙女義男鳩舎	埼玉草加連合会
9位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
10位	葛西　豊鳩舎	三重第三連合会

第22回 2009年		
最優秀	八田　伸鳩舎	下総連合会
2位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
3位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会
4位	大津　宣夫鳩舎	埼玉草加連合会
5位	矢嶋　英夫鳩舎	埼玉利根連合会
6位	釼持　純一鳩舎	南房総連合会
7位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
8位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
9位	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
10位	隈澤　剛鳩舎	船橋連合会

第23回 2010年		
最優秀	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
2位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
3位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
4位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
5位	八田　伸鳩舎	下総連合会
6位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会
7位	中村・有田鳩舎	東愛知連合会
8位	大津　宣夫鳩舎	埼玉草加連合会
9位	藤田　淳一鳩舎	セントレア連合会
10位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会

第25回 2012年		
最優秀	藤田　淳一鳩舎	セントレア連合会
2位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
3位	神谷　中鳩舎	尾張連合会
4位	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
5位	海老　利明鳩舎	富山連合会
6位	大橋　憲夫鳩舎	岐阜県連合会
7位	内山ロフト	遠州連合会
8位	斉藤　守可鳩舎	川崎連合会
9位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会
10位	及川　茂鳩舎	新日本連合会